

## 共催セミナーのご案内

### 第 1 日目 6 月 18 日(木)

ランチョンセミナー 1 ギリアド・サイエンシズ株式会社

6 月 18 日(木) 11:50~12:40

第 1 会場 (朱鷺メッセ 2F メインホール)

「半世紀の診療データが語る B 型肝炎と肝癌～長期データが示す発癌リスクと対策～」

熊田 博光 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院)

司会: 持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)

ランチョンセミナー 2 中外製薬株式会社

6 月 18 日(木) 11:50~12:40

第 2 会場 (朱鷺メッセ 4F 国際会議室)

「進行肝細胞癌診療の現在地と実践的アプローチ」

小笠原定久 (千葉大学大学院医学研究院消化器内科学)

「肝細胞癌薬物療法の Cutting Edge」

工藤 正俊 (近畿大学医学部消化器内科)

司会: 波多野悦朗 (京都大学大学院医学研究科肝胆膵・移植外科)

ランチョンセミナー 3 エーザイ株式会社

「複合免疫療法時代におけるこれからのレンバチニブの使い方」

6 月 18 日(木) 11:50~12:40

第 3 会場 (朱鷺メッセ 3F 中会議室 301)

「肝細胞癌における集学的治療の進化と深化—あらゆる Stage で LEN-TACE を使いこなす—」

荘 拓也 (北海道大学病院消化器内科)

「IO 時代の薬物シークエンス最適解を目指して—自験例解析に基づくレンバチニブの臨床的価値—」

河岡 友和 (広島大学病院消化器内科)

司会: 川村 祐介 (埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科/肝がん高度集学的診療センター)

ランチョンセミナー 4 田辺ファーマ株式会社/日本イーライリリー株式会社

6 月 18 日(木) 11:50~12:40

第 4 会場 (朱鷺メッセ 3F 中会議室 302)

「肝臓、消化器科専門医としての肥満症診療への向き合い方」

高橋 宏和 (佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科)

司会: 内藤 剛 (北里大学医学部下部消化管外科学)

ランチョンセミナー 5 小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

6月18日(木) 11:50~12:40

第5会場(朱鷺メッセ 2F 中会議室201)

「複合免疫療法時代における肝細胞癌治療の『潮流を見極める』

～ニボルマブ+イピリムマブ併用療法の特性を踏まえた位置づけ～」

黒崎 雅之(武蔵野赤十字病院)

司会:坂本 直哉(北海道大学大学院医学研究院消化器内科学教室)

ランチョンセミナー 6 アッヴィ合同会社

「C型慢性肝炎から肝細胞癌までの診療最前線～DAA時代に求められるトータルケアと新たな展望～」

6月18日(木) 11:50~12:40

第7会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「DAA治療のその先へ—SVR後HCCリスクと長期マネジメントの新戦略—」

疋田 隼人(大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学)

「慢性肝炎から肝硬変までのDAA治療について」

厚川 正則(日本医科大学大学院医学研究科消化器内科学)

司会:山下 太郎(金沢大学医薬保健研究域医学系消化器内科学)

ランチョンセミナー 7 ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス

「MASLD, サルコペニアにおける低亜鉛血症の意義」

6月18日(木) 11:50~12:40

第8会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「MASLDに対する食事療法を再考する～低亜鉛血症の視点から～」

玉井 秀幸(和歌山労災病院肝臓内科)

「高齢化社会における肝硬変治療を考える～サルコペニアそして亜鉛～」

西川 浩樹(大阪医科薬科大学内科学2)

司会:芥田 憲夫(国家公務員共済組合連合会虎の門病院肝臓内科)

ランチョンセミナー 8 武田薬品工業株式会社

「若手・中堅が押さえるべき“基本”と“戦略”を,明日からの診療へ」

6月18日(木) 11:50~12:40

第10会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「若手・中堅医師のための肝がん薬物療法の基礎・臨床」

岩本 英希(岩本内科医院/久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門)

「肝癌薬物治療のベストストラテジー:明日から使えるCabo活用法」

大久保裕直(順天堂大学医学部附属練馬病院消化器内科)

司会:泉 並木(武蔵野赤十字病院)

## ランチョンセミナー 9

キャノンメディカルシステムズ株式会社

「SLD 診療における超音波の有用性～腫瘍性病変とびまん性病変それぞれのアプローチ～」

6月18日(木) 11:50～12:40

第11会場(ホテル日航新潟 3F 孔雀)

「AI は肝腫瘍性病変診療をどう変えるかー超音波診断の新たな役割ー」

今城 健人(新百合ヶ丘総合病院消化器内科)

「MASLD 診療ガイドラインを踏まえた SLD 評価における超音波の役割」

黒田 英克(岩手医科大学内科学講座消化器内科分野)

司会: 飯島 尋子(兵庫医科大学消化器内科学(肝胆膵内科))

建石 良介(東京大学大学院医学系研究科消化器内科学(器官病態内科学))

## ランチョンセミナー 10

沢井製薬株式会社

「内科における減酒治療について」

6月18日(木) 11:50～12:40

第12会場(ホテル日航新潟 4F 朱鷺A)

「内科における減酒治療の実践と、減酒治療補助アプリ「HAUDY (ハウディ)」の可能性」

吉本 尚(筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター)

「肝臓医が直面するアルコール関連疾患」

狩山 和也(地方独立行政法人岡山市立総合医療センター岡山市立市民病院消化器内科)

司会: 吉治 仁志(奈良県立医科大学消化器内科学講座)

## ランチョンセミナー 11

アストラゼネカ株式会社 メディカル本部

6月18日(木) 11:50～12:40

第13会場(ホテル日航新潟 4F 朱鷺B)

「HCC の免疫微小環境理解と治療介入による再プログラミングの可能性」

中川 勇人(三重大学大学院医学系研究科消化器内科学)

司会: 田中 真二(東京科学大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍医学分野)

スポンサードシンポジウム 1 アッヴィ合同会社

「C 型肝炎拾い上げと PWUD への最前線アプローチ

—HCV Elimination への挑戦—

6 月 18 日(木) 15:30~16:45

第 10 会場 (朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「佐渡ヶ島における肝炎ウイルス対策～肝炎ウイルス撲滅を目指して～」

木村 成宏 (新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野肝疾患相談センター)

「山口県における HCV Elimination を目指した薬物使用者に対する取り組み」

高見 太郎 (山口大学大学院医学系研究科消化器内科学)

「刑務所における HCV 感染状況・治療・社会の病院につなげる仕組みの現状」

新妻 宏文 (宮城刑務所)

司会: 打田佐和子 (大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学)

イブニングセミナー 1 株式会社 RCMG

「B 型肝炎の診断と治療の最前線: 次世代の診療戦略をどう構築するか」

6 月 18 日(木) 16:50~17:40

第 1 会場 (朱鷺メッセ 2F メインホール)

「新規バイオマーカーを含めた B 型肝炎の診断・治療」

須田 剛生 (北海道大学内科学講座消化器内科学分野)

「HBs 抗原糖鎖修飾異性体 (HBsAgGi) が「可視化」する新たなウイルス動態」

玄田 拓哉 (順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科)

司会: 八橋 弘 (長崎医療センター)

イブニングセミナー 2 MSD 株式会社

6 月 18 日(木) 16:50~17:40

第 3 会場 (朱鷺メッセ 3F 中会議室 301)

「胆道癌薬物治療 Up-To-Date～肝内胆管癌を中心にこれからの治療戦略を考える～」

尾阪 将人 (がん研究会有明病院肝胆膵内科)

司会: 海野 倫明 (東北大学大学院医学系研究科消化器外科学分野)

イブニングセミナー 3 富士フィルムメディカル株式会社/富士フィルム株式会社

6 月 18 日(木) 16:50~17:40

第 4 会場 (朱鷺メッセ 3F 中会議室 302)

「MASLD 診療ガイドラインに基づく超音波診断の Deep Insight」

玉城 信治 (武蔵野赤十字病院消化器科)

司会: 熊田 卓 (岐阜協立大学/広島大学大学院医系科学研究科)

## イブニングセミナー 4 大塚製薬株式会社

「アルコール性肝疾患の診療 Up to date」

6月18日(木) 16:50~17:40

第5会場(朱鷺メッセ 2F 中会議室 201)

「セリンクロ市販後の飲酒量低減治療の現状」

堀江 義則(医療法人社団慶洋会ケイアイクリニック)

「アルコール性肝疾患と栄養療法」

清水 雅仁(岐阜大学大学院医学系研究科消化器内科学)

司会: 宮明 寿光(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科消化器内科学分野)

## イブニングセミナー 5 アッヴィ合同会社

「C型肝炎診療の拾い上げと肝疾患管理の最前線」

6月18日(木) 16:50~17:40

第7会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「奈良宣言(ALT&gt;30)に基づくC型肝炎拾い上げの実践と肝硬変合併症管理のアップデート」

横山 圭二(福岡大学医学部消化器内科)

「C型肝炎・慢性肝疾患診療の標準化と個別化」

黒崎 雅之(武蔵野赤十字病院)

司会: 持田 智(埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)

## イブニングセミナー 6 日本ゴア合同会社

6月18日(木) 16:50~17:40

第8会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「門脈圧亢進症治療にTIPSという選択肢を

—本邦初のTIPS用ステントグラフトがもたらす可能性—」

山本 真由(帝京大学医学部附属病院放射線科)

司会: 國分 茂博(新百合ヶ丘総合病院消化器内科)

## イブニングセミナー 7 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

6月18日(木) 16:50~17:40

第11会場(ホテル日航新潟 3F 孔雀)

「MASLD診療ガイドライン2026にみる非侵襲的診断法の進化—ELFスコア活用の新視点」

鎌田 佳宏(大阪大学大学院医学系研究科生体物理工学講座)

司会: 竹井 謙之(三重大学大学院医学系研究科)

イブニングセミナー 8 ミヤリサン製薬株式会社

6月18日(木) 16:50~17:40

第12会場(ホテル日航新潟 4F 朱鷺A)

「ガットフレイルをご存知ですか?~その概念と腸肝相関~」

内藤 裕二(京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座)

司会: 力山 敏樹(自治医科大学附属さいたま医療センター一般・消化器外科)

**第2日目 6月19日(金)**

モーニングセミナー 1 大正製薬株式会社

6月19日(金) 8:00~8:50

第3会場(朱鷺メッセ 3F 中会議室301)

「糖尿病診療と SGLT2 阻害薬の意義—MASLD 診療ガイドライン 2026 を踏まえて—」

川口 巧(久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門)

司会: 竹原 徹郎(関西労災病院)

モーニングセミナー 2 アッヴィ合同会社

「HCV 患者拾い上げから個別化 DAA 治療までの流れ」

6月19日(金) 8:00~8:50

第4会場(朱鷺メッセ 3F 中会議室302)

「院内連携による HCV 患者の発見: 非専門診療科での意義と実践」

瀬戸山博子(熊本大学病院消化器内科)

「HCV Elimination とその先へ~最新治療戦略と次世代研究が拓く未来~」

朝比奈靖浩(東京科学大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学分野肝臓病態制御学)

司会: 柘植 雅貴(広島大学病院肝疾患センター)

モーニングセミナー 3 Johnson&Johnson

「原発性硬化性胆管炎(PSC) 合併 IBD の臨床像と IBD 最新治療の Update」

6月19日(金) 8:00~8:50

第7会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「腸肝軸から読み解く IBD 発症病態と治療の最前線」

秋山慎太郎(筑波大学医学医療系消化器内科 IBD センター)

司会: 川田 雄三(新潟大学医歯学総合研究科消化器内科学分野)

モーニングセミナー 4 EA ファーマ株式会社

6月19日(金) 8:00~8:50

第8会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「肝疾患栄養療法のエビデンス~BCAA 製剤のこれまでとこれから~」

清水 雅仁(岐阜大学大学院医学系研究科消化器内科学)

司会: 日浅 陽一(愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)

## モーニングセミナー 5 武田薬品工業株式会社

「小児期発症胆汁うっ滞症の成人期マネジメント」

6月19日(金) 8:00~8:50

第9会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「小児期発症胆汁うっ滞症の成人期マネジメントーそう痒にどう向き合うか」

鈴木 光幸(順天堂大学医学部附属静岡病院小児科)

司会: 乾 あやの(済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科)

## モーニングセミナー 6 持田製薬株式会社/株式会社富士薬品

「脂肪肝と高尿酸血症について」

6月19日(金) 8:00~8:50

第10会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「脂肪肝合併高尿酸血症患者における肝・腎機能を考える」

國本 英雄(地方独立行政法人長野市民病院肝臓内科)

司会: 土谷 薫(日本赤十字社武蔵野赤十字病院消化器内科)

## モーニングセミナー 7 旭化成セラピューティクス株式会社

「慢性肝疾患における観血的な手技」

6月19日(金) 8:00~8:50

第11会場(ホテル日航新潟 3F 孔雀)

「アバトロンボパグ × 汎用 AI: 肝臓診療の次世代「二刀流」戦略~汎用 AI 活用の実演を含む~」

小川 力(高松赤十字病院消化器・肝臓内科/翼医院)

司会: 丸澤 宏之(大阪赤十字病院消化器内科)

## ランチョンセミナー 12 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

「肝細胞癌に対する最新の薬物治療戦略」

6月19日(金) 13:00~13:50

第1会場(朱鷺メッセ 2F メインホール)

「複合免疫療法による進行肝細胞癌治療の進化と臨床的課題」

小笠原定久(千葉大学医学部附属病院消化器内科)

「肝癌薬物療法における CTLA-4 阻害の意義を再考する」

中川 勇人(三重大学大学院医学系研究科消化器内科学)

司会: 熊田 博光(国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院)

## ランチョンセミナー 13 ギリアド・サイエンシズ株式会社

6月19日(金) 13:00~13:50

第2会場(朱鷺メッセ 4F 国際会議室)

「C型肝炎診療における最新情報: 撲滅戦略から薬剤選択まで」

玉城 信治(日本赤十字社武蔵野赤十字病院消化器内科)

司会: 川口 巧(久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門)

ランチョンセミナー 14 あすか製薬株式会社

「肝硬変トータルマネジメント」

6月19日(金) 13:00~13:50

第3会場(朱鷺メッセ 3F 中会議室 301)

「不顕性肝性脳症の診断と治療—エビデンスと実臨床での課題—」

中井 正人(北海道大学病院消化器内科)

「肝硬変合併症の管理—肝性脳症やアルコール関連肝疾患を含めて—」

浪崎 正(奈良県立医科大学消化器代謝内科・肝疾患相談センター)

司会:土屋 淳紀(山梨大学大学院総合研究部医学域内科学講座消化器内科学教室)

ランチョンセミナー 15 アストラゼネカ株式会社

6月19日(金) 13:00~13:50

第4会場(朱鷺メッセ 3F 中会議室 302)

「CTLA-4時代の進行肝癌治療戦略-シングルプライミングの位置付けとは-」

小玉 尚宏(大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学)

司会:工藤 正俊(近畿大学医学部消化器内科学)

ランチョンセミナー 16 株式会社特殊免疫研究所

「本邦の MASLD 診療は新たなステージへ—非侵襲的診断法をどのように使いこなすか?—」

6月19日(金) 13:00~13:50

第5会場(朱鷺メッセ 2F 中会議室 201)

「基調講演 MASLD 診療のパラダイムシフト—治療が必要な at-risk MASH をどう診る?—」

角田 圭雄(国際医療福祉大学大学院医療福祉経営専攻医療経営管理分野)

「ディスカッションテーマ: at-risk MASH の拾い上げに非侵襲的検査をどのように活用するか?—症例から考える CK-18F の可能性と課題—」

ディスカッサント:川中 美和(岡山大学学術研究院医歯薬学域消化器・肝臓内科学肝・腎リハビリテーション(運動療法)連携推進講座)

藤井 英樹(大阪公立大学大学院生活科学研究科生活科学専攻)

司会:中島 淳(国際医療福祉大学消化器内科統括教授・熱海病院)

## ランチョンセミナー 17 シスメックス株式会社

「MASLD 診療ガイドライン 2026 改訂ポイントと肝線維化マーカー M2BPGi への期待」

6月19日(金) 13:00~13:50

第7会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「MASLD 診療ガイドライン 2026 市場環境を受けどう変わったのか~治療薬と NIT の位置づけ~」

鎌田 佳宏(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体物理工学講座病態超音波医学研究室)

「M2BPGi を基盤とした肝発がんリスク予測への展開—測定系の工夫と臨床的価値—」

久野 敦(産業技術総合研究所生命工学領域細胞分子工学研究部門分子細胞マルチオミクス研究グループ)

司会: 原田 大(産業医科大学医学部第3内科学)

溝上 雅史(産業技術総合研究所生命工学領域細胞分子工学研究部門)

## ランチョンセミナー 18 テルモ株式会社/日本ライフライン株式会社

「肝疾患治療の現在地: RFA の臨床的価値と戦略的活用」

6月19日(金) 13:00~13:50

第8会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「進化する肝癌治療における RFA の未来」

中堀 輔(大阪国際がんセンター)

「薬物療法時代における肝細胞癌に対する TACE と RFA の位置づけ

—門脈圧亢進症 IVR による肝予備能改善も含めて—」

石川 達(済生会新潟病院)

司会: 椎名秀一朗(杏雲堂病院)

## ランチョンセミナー 19 旭化成メディカル株式会社

6月19日(金) 13:00~13:50

第9会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「これからの肝硬変診療~CART の新たなメリットを含めて~」

吉治 仁志(奈良県立医科大学消化器内科学講座)

司会: 竹原 徹郎(関西ろうさい病院)

## ランチョンセミナー 20 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

6月19日(金) 13:00~13:50

第10会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール内)

「HCV 排除に向けた最終戦略: HCV Duo がもたらす診断フローのパラダイムシフト」

八橋 弘(国立病院機構長崎医療センター/長崎県病院企業団)

司会: 考藤 達哉(国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所肝炎・免疫研究センター)

ランチョンセミナー 21 興和株式会社

「肝臓専門医こそ押さえておくべき脂質異常症の基礎知識～MASLD との関連は？～」

6月19日(金) 13:00～13:50

第11会場(ホテル日航新潟 3F 孔雀)

「肝臓から「あぶら」の善悪を考える」

小倉 正恒(順天堂大学医療科学部臨床検査学科)

「脂質異常症に関連する MASLD のパラダイムシフト」

米田 正人(横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学)

司会:大塚 基之(岡山大学学術研究院医歯薬学域消化器・肝臓内科学)

ランチョンセミナー 22 エーザイ株式会社

「実臨床から考えるこれからの肝細胞癌治療戦略」

6月19日(金) 13:00～13:50

第12会場(ホテル日航新潟 4F 朱鷺A)

「多様化する肝癌治療における最適なシークエンシャル治療を目指して一北日本のリアルワールドデータを踏まえたレンパチニブの位置づけ」

阿部 珠美(岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野)

「複合免疫療法時代の肝癌治療—集学的アプローチにおける LEN-TACE/HAIC の意義—」

多田 俊史(神戸大学大学院医学系研究科内科学講座消化器内科学分野)

司会:中本 安成(福井大学学術研究院医学系部門消化器内科学分野)

ランチョンセミナー 23 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

6月19日(金) 13:00～13:50

第13会場(ホテル日航新潟 4F 朱鷺B)

「MASLD をどう診断するか:最新エビデンスと非侵襲的評価の実践」

黒田 英克(岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野)

司会:田中 靖人(熊本大学大学院生命科学部消化器内科学講座)

スポンサーシンポジウム 2 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 開発本部  
メディカルアフェアーズ部

「MASLD/MASH 診療の新展開～ガイドラインとエビデンスの共存共栄～」

6月19日(金) 15:10～16:40

第13会場(ホテル日航新潟 4F 朱鷺B)

「MASLD 診療ガイドラインに基づいた patient care pathway」

高橋 宏和(佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科)

「MASLD/MASH 診療の変革期を迎え、われわれは何を求められているか」

中島 淳(国際医療福祉大学消化器内科/国際医療福祉大学熱海病院)

司会:岡上 武(大阪府済生会吹田病院)